

街区の再生

信州大学 工学部 建築学科
建築設計製図第II

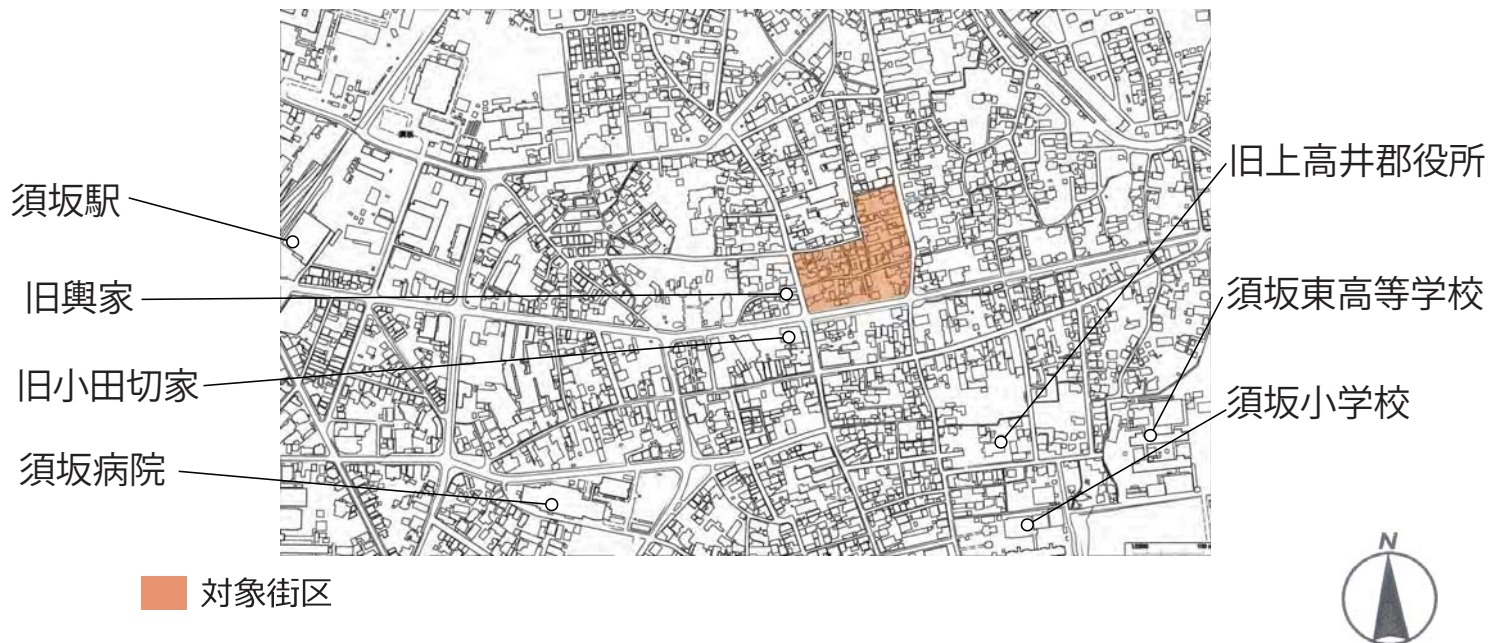
2019/2/9

課題内容

- 須坂市の歴史的街区を対象として、都市組織の個別的再生を通じて、街区全体を段階的に再生する。
- その全体プログラムを組み立てるとともに、個別的再生を個々に設計する。
ex)...step0 → step1 → step2 → step3

対象範囲

- 対象街区
- 対象街区に面している道路
- その道に面する敷地



敷地調査（ヒアリング調査・敷地周辺の調査）



敷地調査（対象街区）



1



2



3

敷地調査（対象街区）



4



5



6

講評会



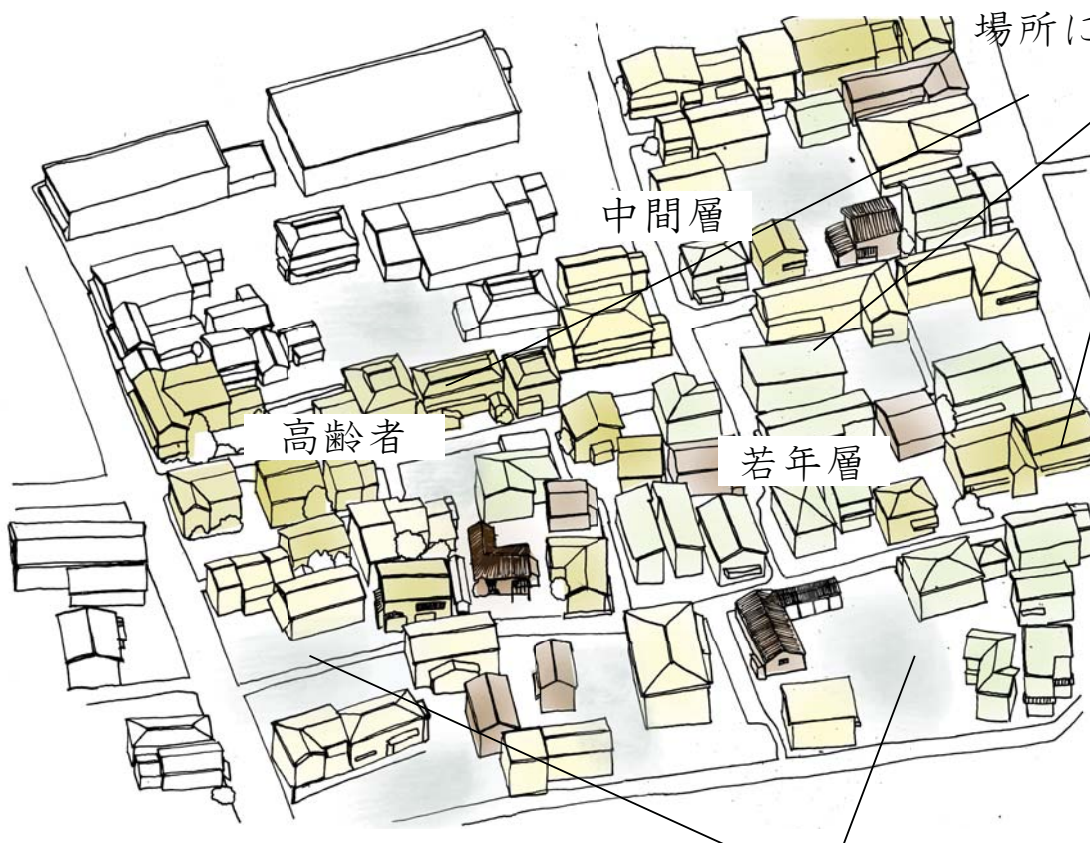
ごみ捨て場から広がる街区の再生



信州大学工学部建築学科 細川健

■ 現状分析

□ 住んでいる人の年齢層が
場所によって偏っている



- 茶：空き家
- 黄土：高齢者
- 黄：中間層
- 緑：若年層

□ 特に使われていない駐車場などの空きスペースが多い

□問題点

- ・住民間の関わりが少ない。
- ・街区内の住宅の散らばりに年齢層の偏りがある。
- ・駐車場などあまり使われていない空間が点在している。



街区の住民同士に関わりを持たせ
住民の生活を豊かにしたい



生活の一部である”ごみ捨て”に注目して街区の再生を行う。

■計画の概要

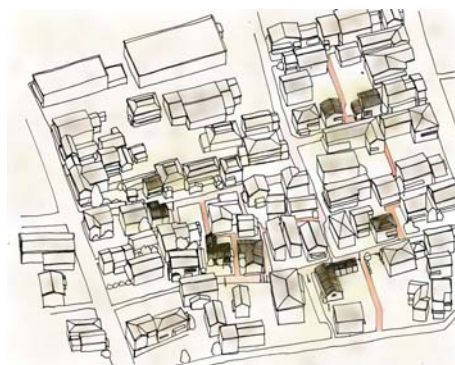
STEP1： 年齢層の境界にごみ捨て場を設置

STEP2： ごみ捨て場同士を道でつなぐ

STEP3： 駐車場の一部を畑に整備



STEP 1



STEP 2



STEP 3

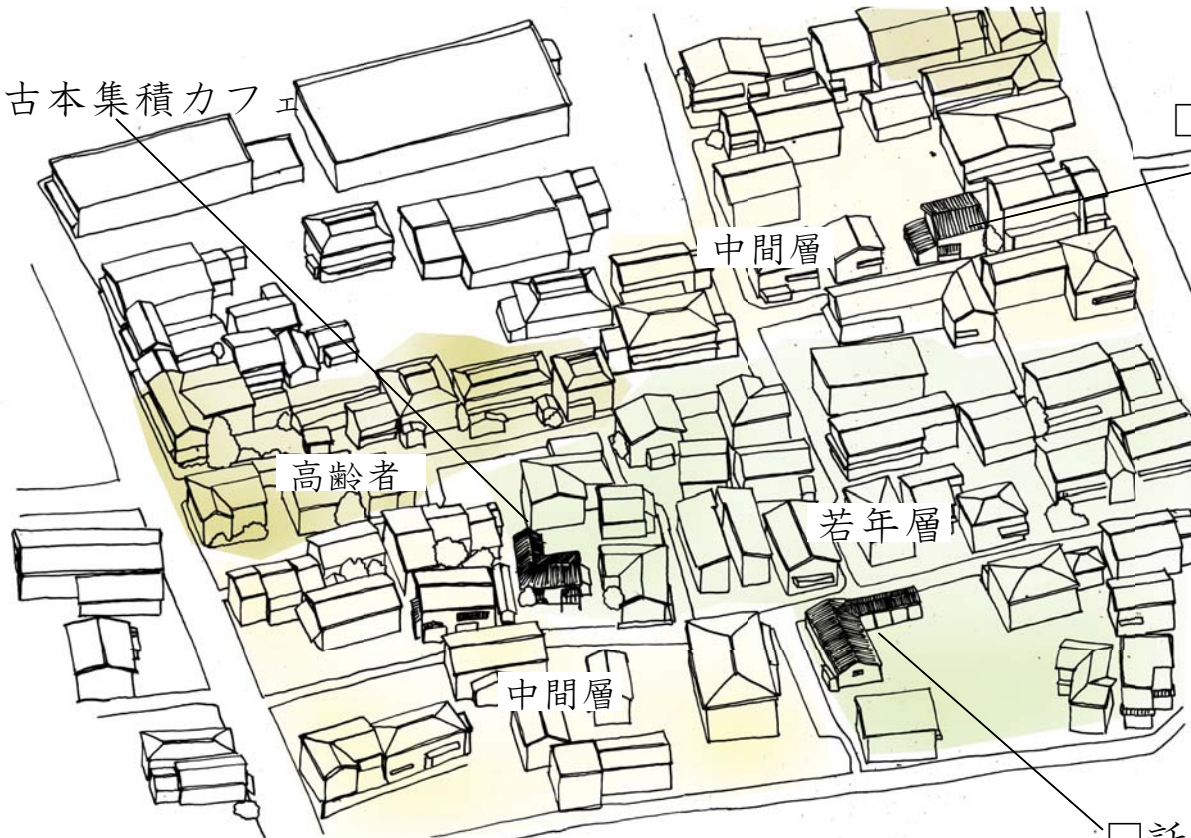
STEP 1

・年齢層の境界にゴミ捨て場を設置

・住民の利用する機能をごみ捨て場に接続

□古本集積カフェ

□野菜直売所



□託児所

STEP 1

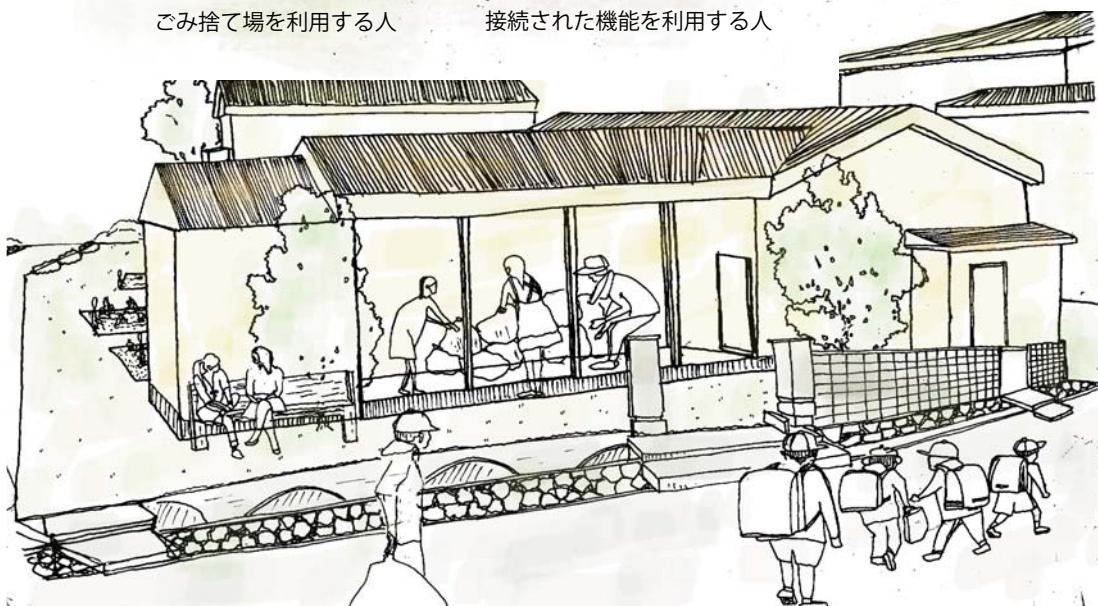


ごみ捨て場を利用する人

×



接続された機能を利用する人



⇒ごみ捨てをきっかけとして、さまざまな関わりが生まれる

STEP 2

ごみ捨て場同士を道でつなぐ



⇒ 二つの道が住民の生活動線となる

STEP 2

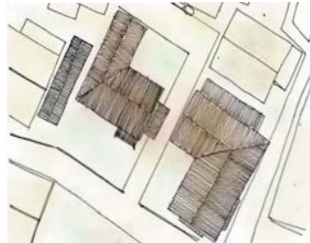
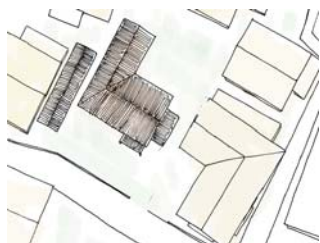


ごみ捨て場のコミュニティ間を移動⇒道先での関わり

STEP 2



STEP1：古本集積カフェ STEP2：隣の空き家に機能を拡張



機能が拡張されていき、街区全体に機能のある建物が増える。

STEP 3

駐車場の一部を畑に整備



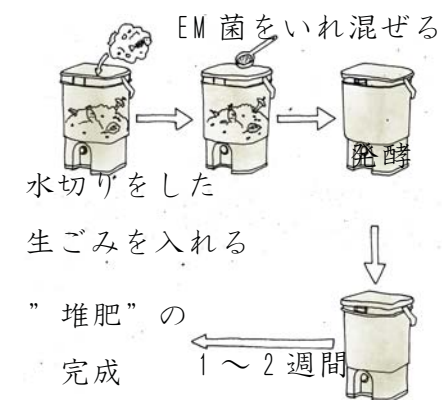
畑

⇒街区全体を人が生活するように

STEP 3



□生ごみを肥料に



⇒畑を通しての世代間（高齢者と若年層）の交流

⇒”堆肥”を用いた安全・安価な野菜



ご静聴ありがとうございました。

人と動物の繋がり



【Concept】

1年間の犬・猫の殺処分数は **8362 頭**

「長野県の動物の引き取り数及び殺処分数」

	犬	猫	合計
引き取り数	599	1264	1882
返還数	406	5	411
譲渡数	177	884	1059
殺処分数	16	377	393

税金を利用して、殺処分を行う
お金を払いペットを購入する



同じ命に対し、扱いが異なる

【Program】

STEP0

現状把握、調査



STEP1

動物施設の建築及び各設備の整備



STEP2

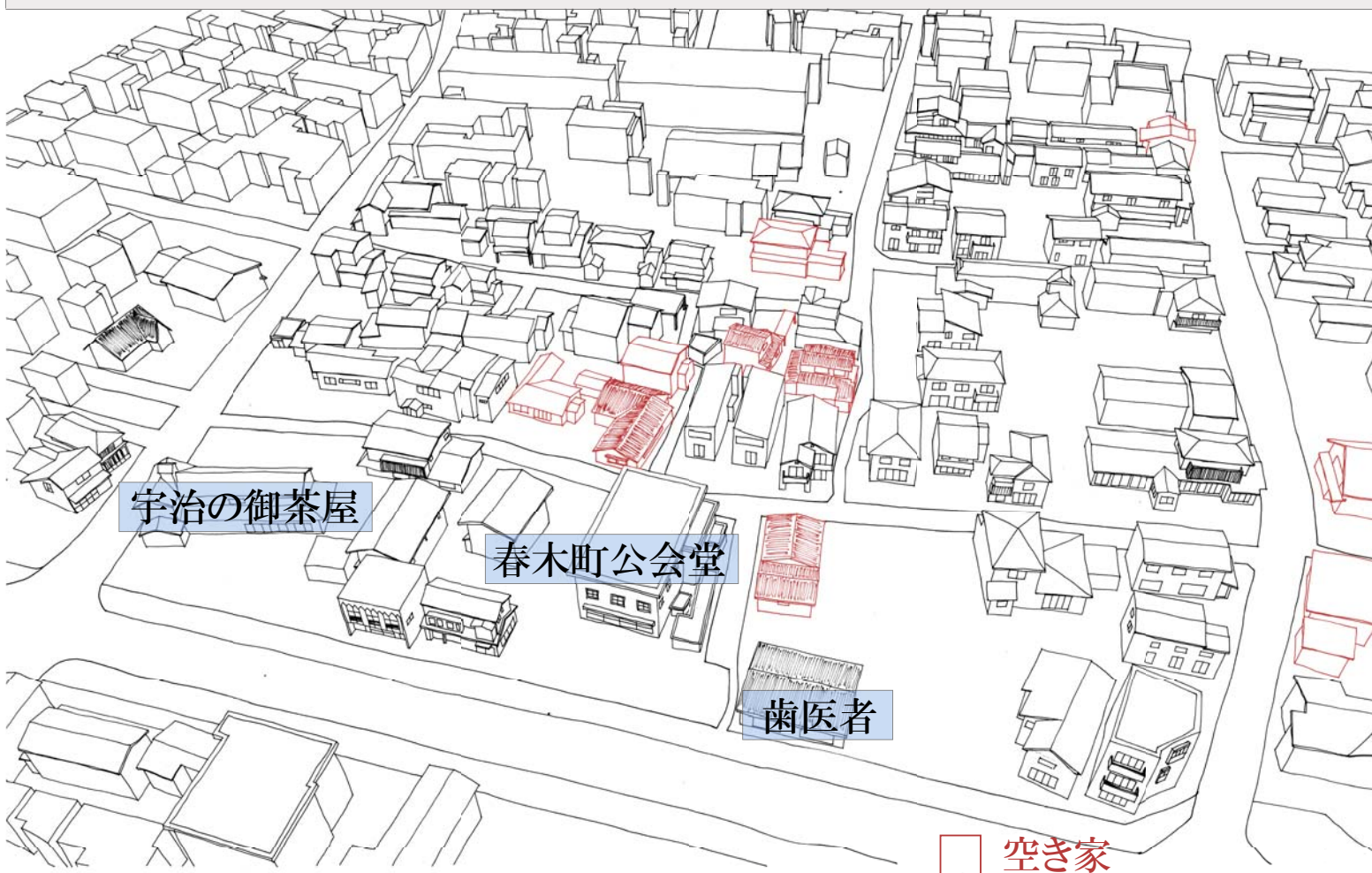
町全体に保護された犬猫が譲渡



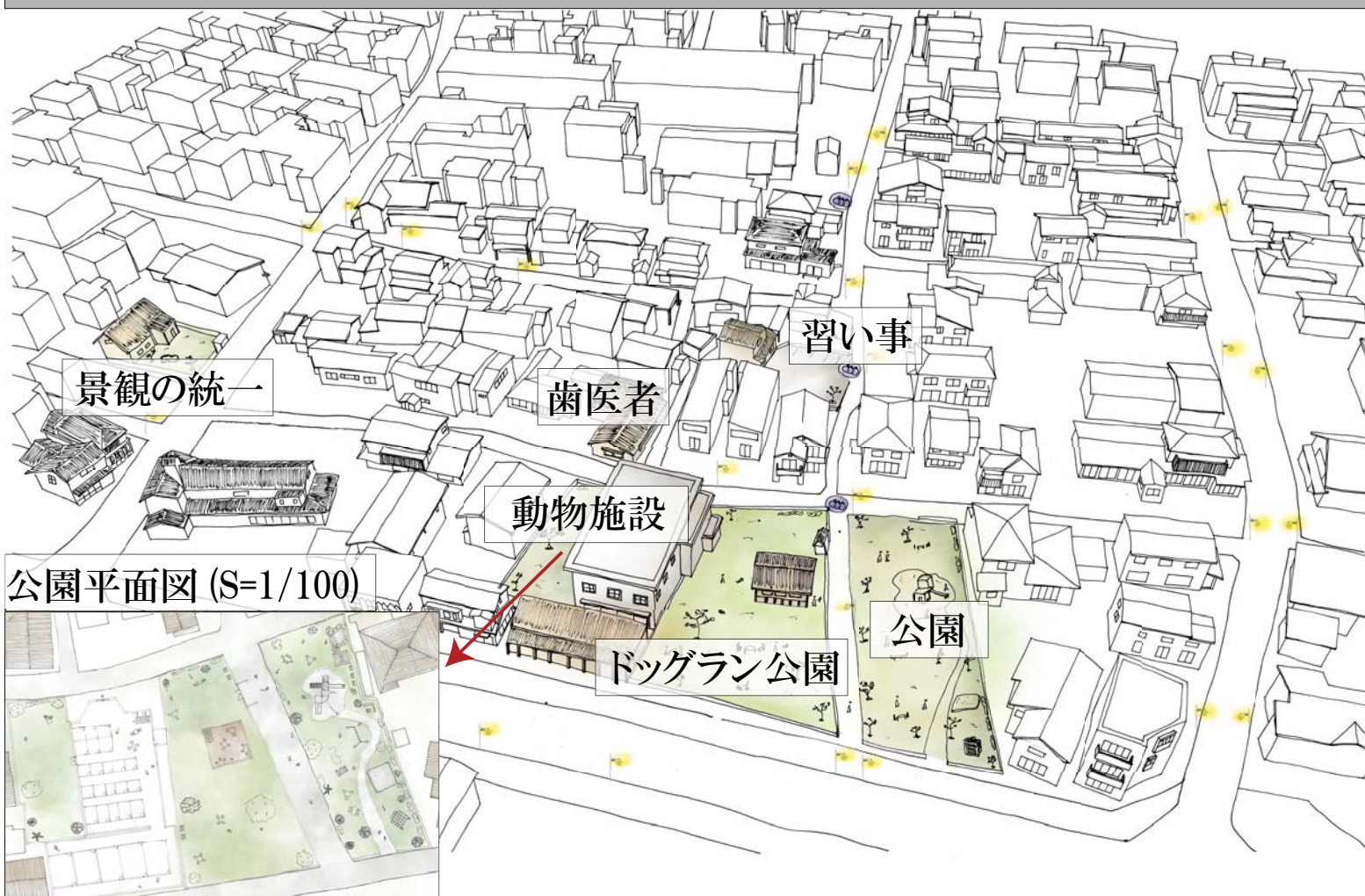
STEP3

この活動が須坂市全体に広がる

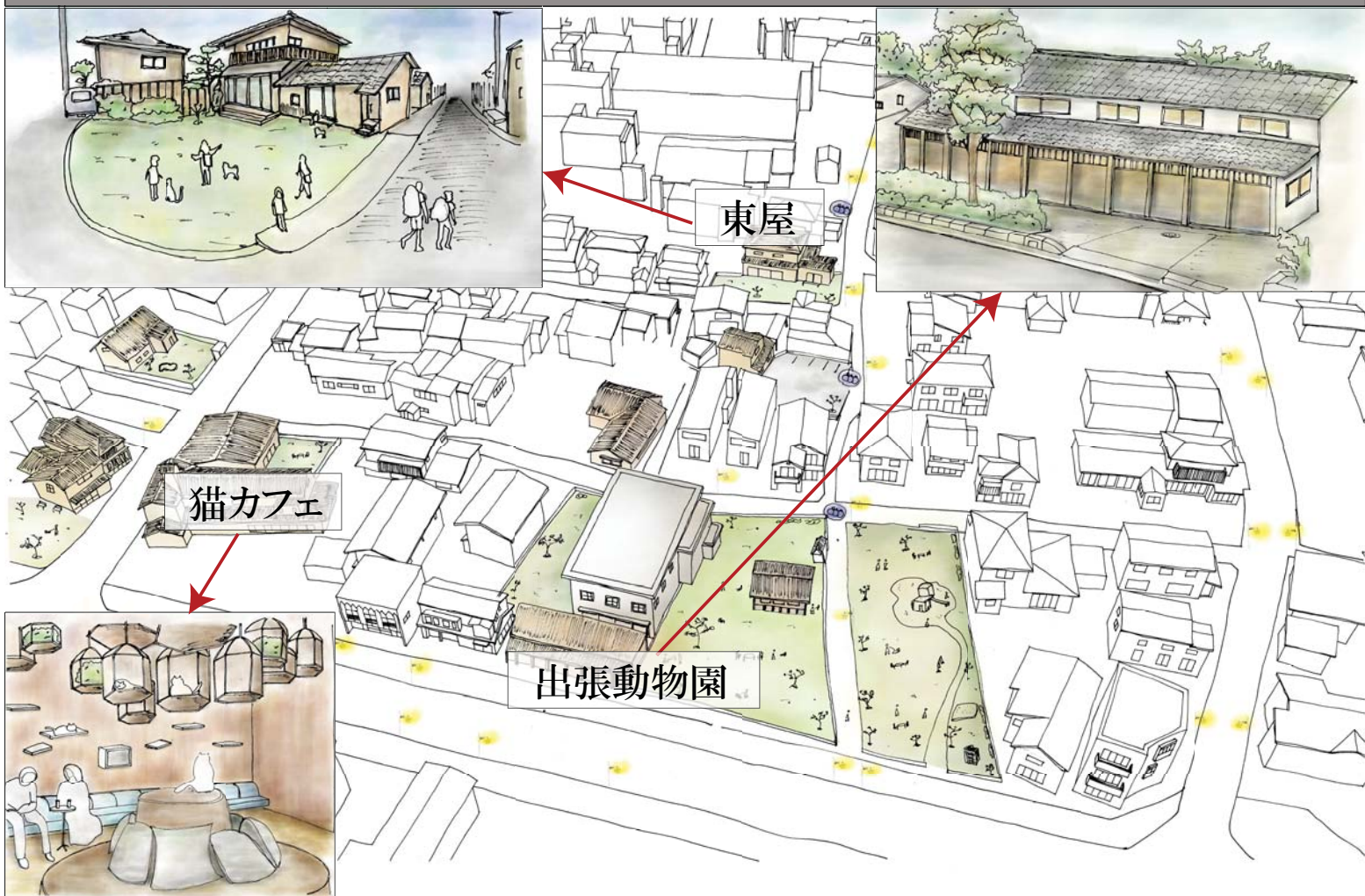
STEP0



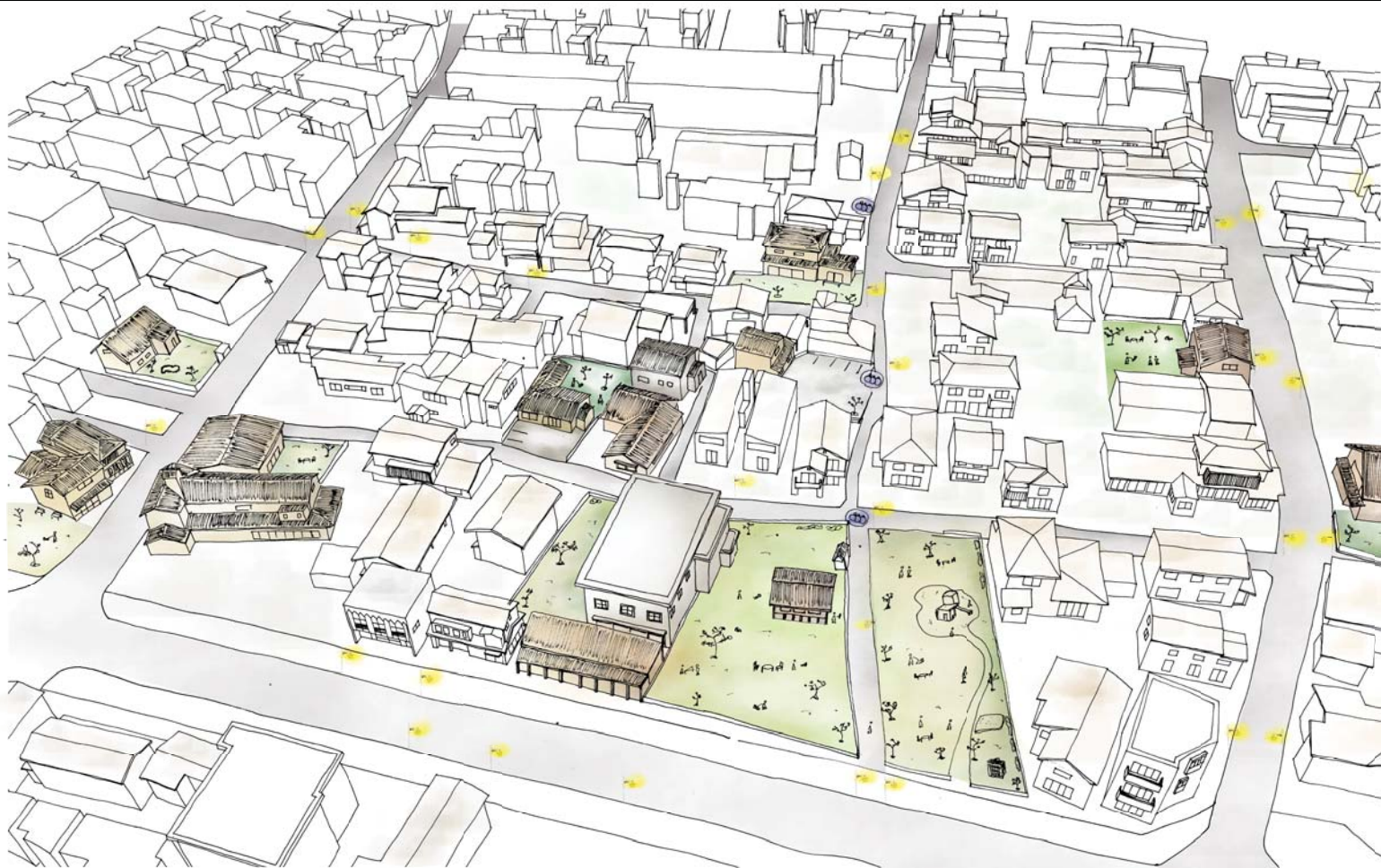
STEP1



STEP2

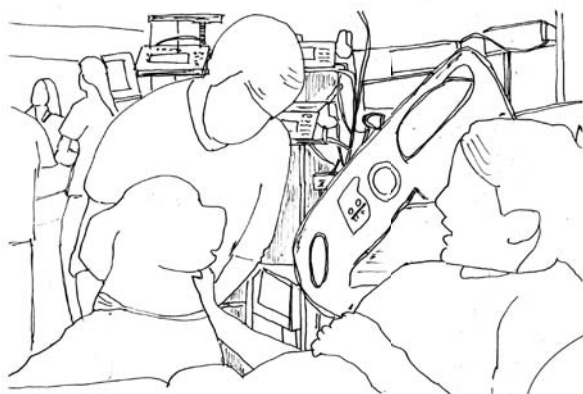


STEP3

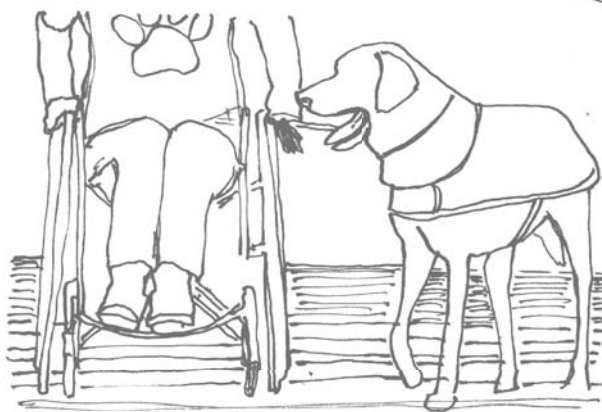


【犬や猫の活躍の場】

アニマルセラピー



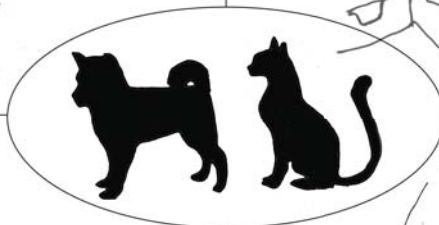
介護犬



プリズン・ドッグキャット・プログラム

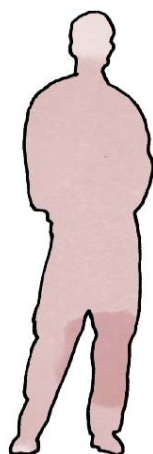


認知症対策



【犬や猫の活躍の場】

ペットを飼っていない人



子供



ペットを飼っている人

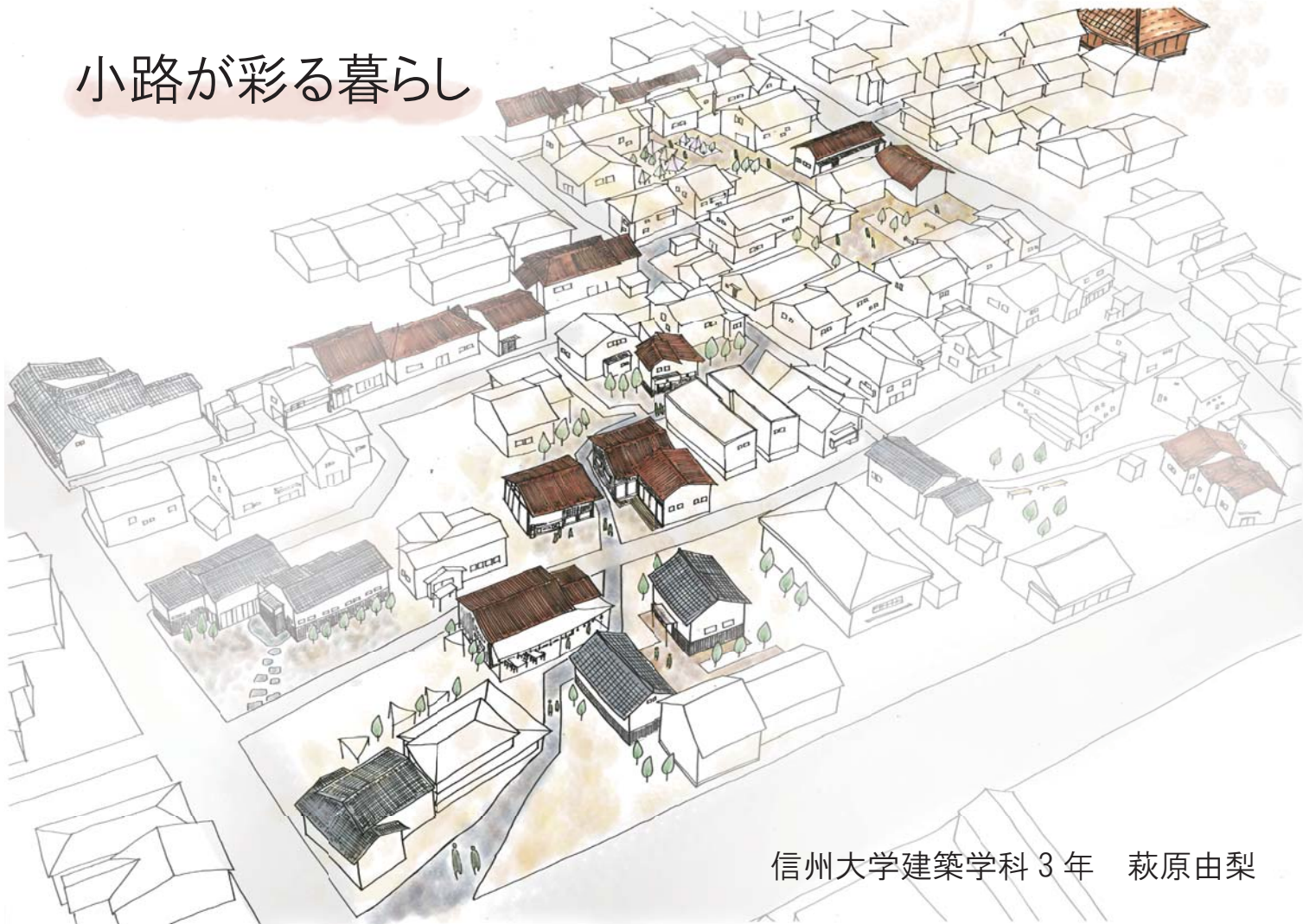


観光客



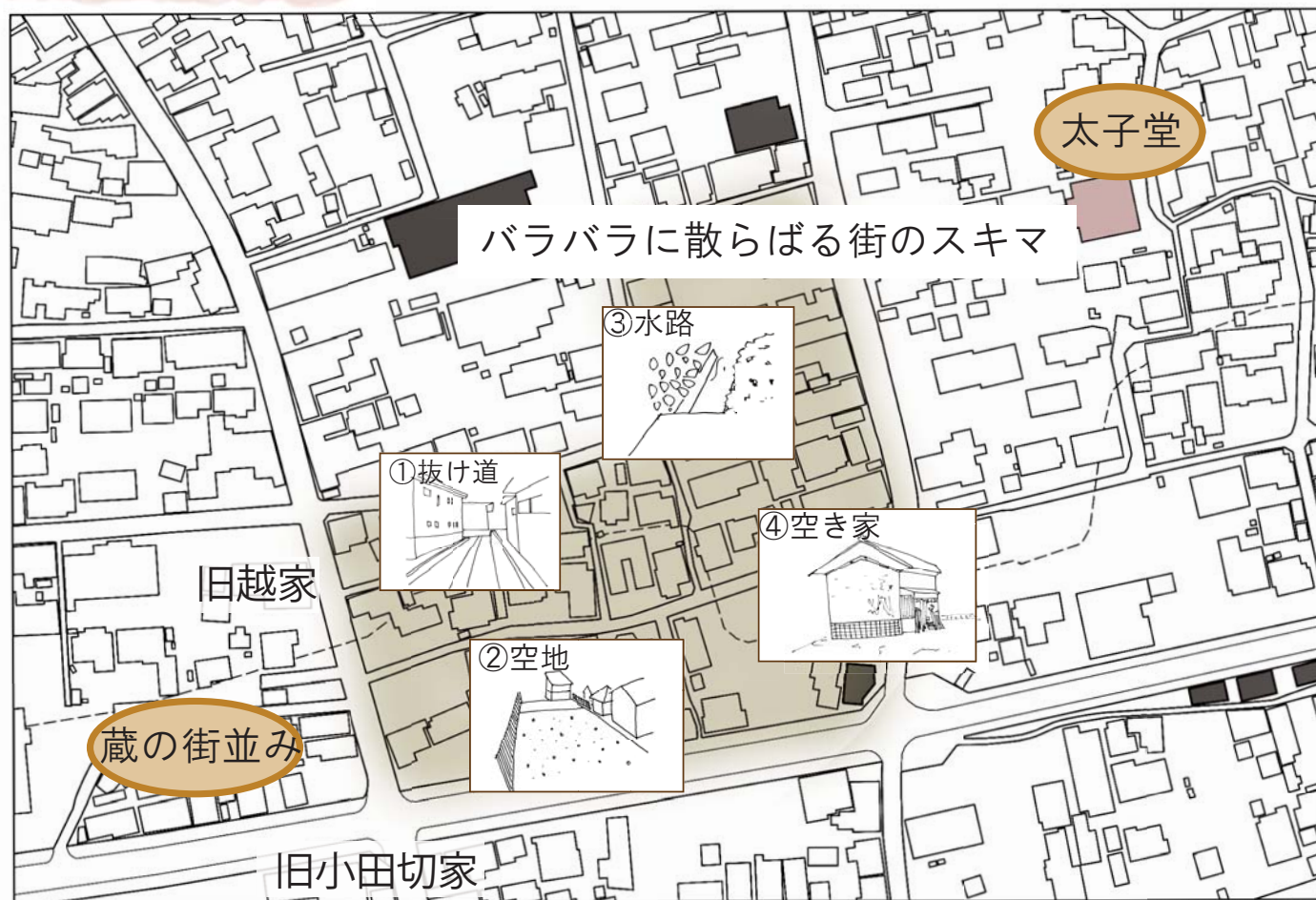
ご清聴ありがとうございました

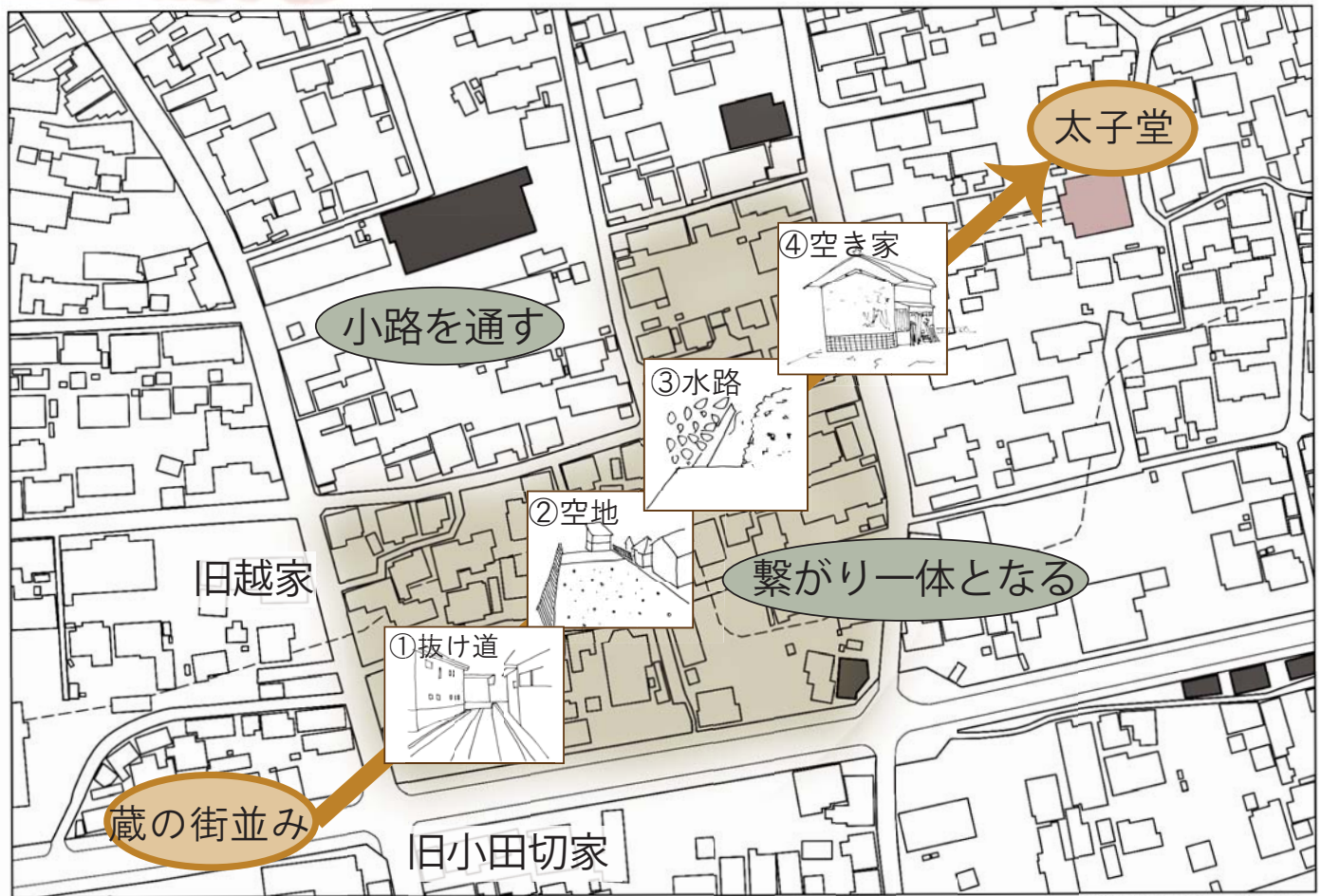
小路が彩る暮らし



信州大学建築学科 3 年 萩原由梨

ploglam





STEP0 現地調査 & 計画

<街のスキマ>



線（小路）

→ 太子堂と同じ
石畳に舗装

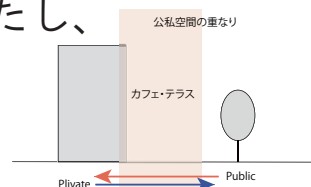
点（空き家）

→ 地域に開く
& 解体・減築

面（空き地）

→ 植樹・家具
デッキ・テント

面は点と線を結ぶ役割を果たし、
さらにコミュニティを生む

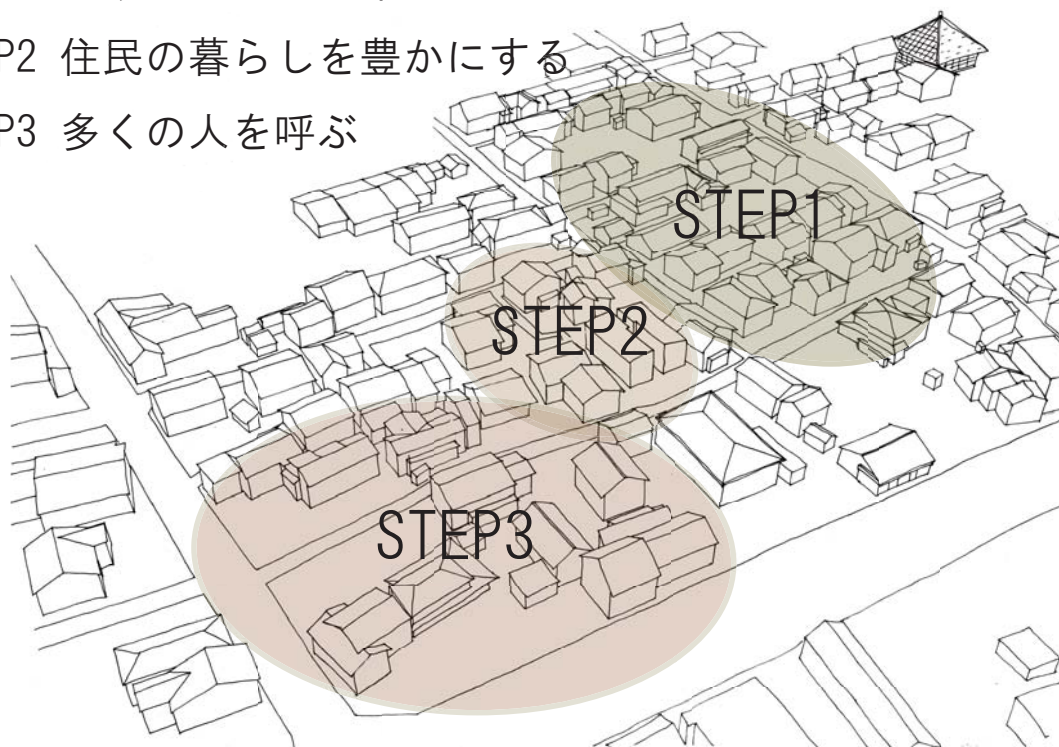


エリアごとに展開していく

STEP1 地域コミュニティをつくる

STEP2 住民の暮らしを豊かにする

STEP3 多くの人を呼ぶ



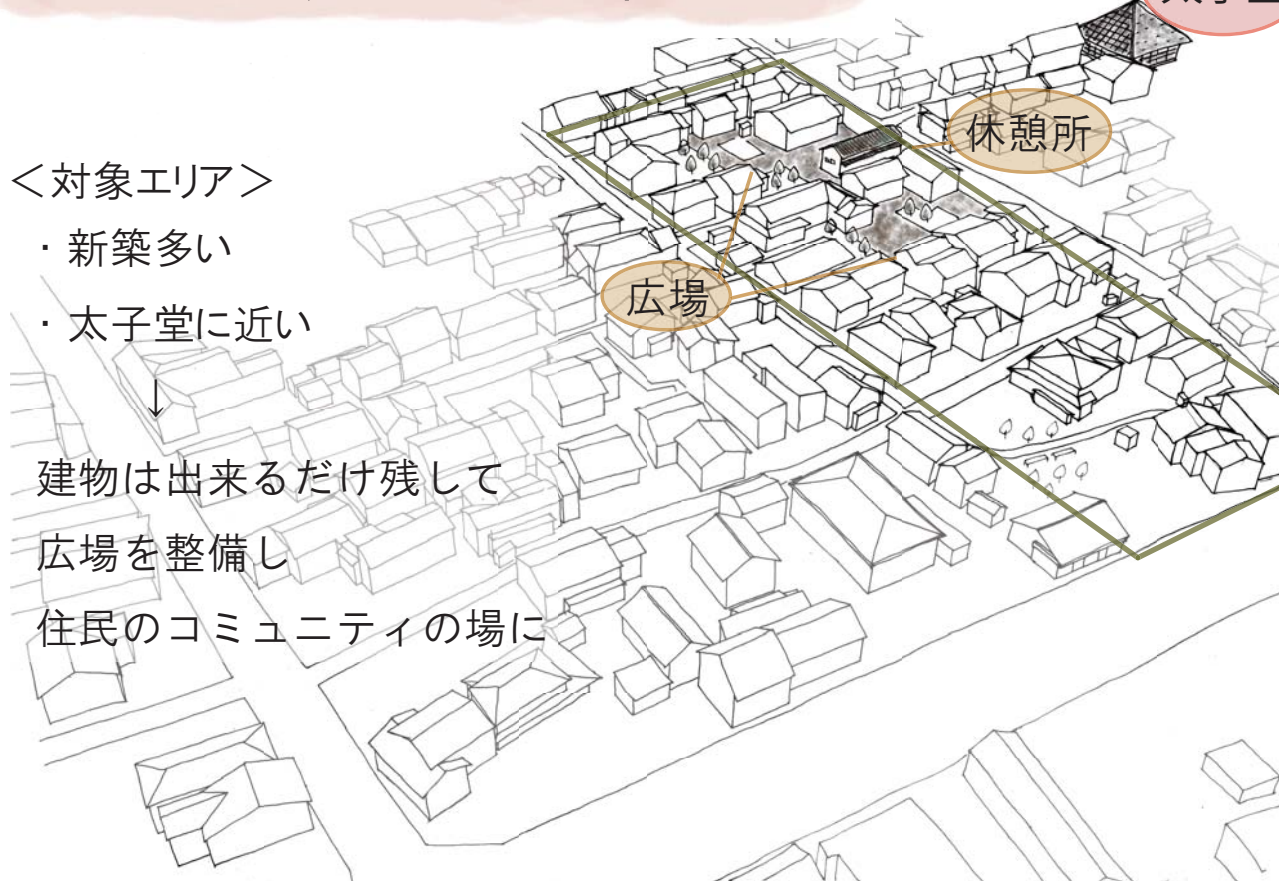
STEP1 地域コミュニティをつくる

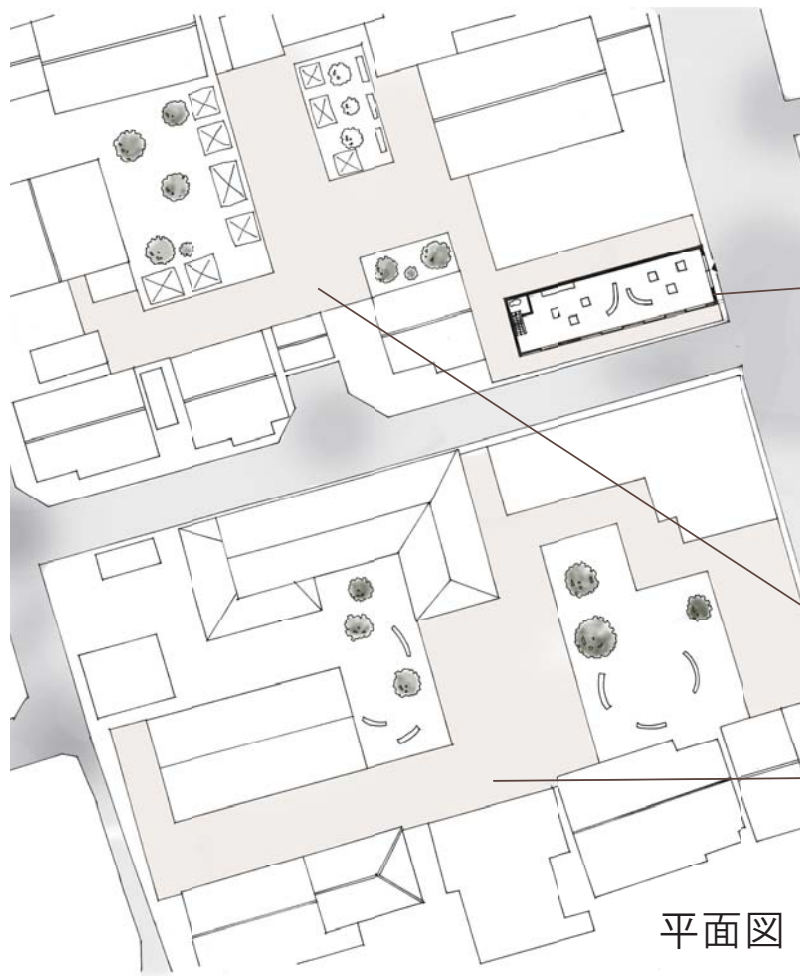
太子堂

＜対象エリア＞

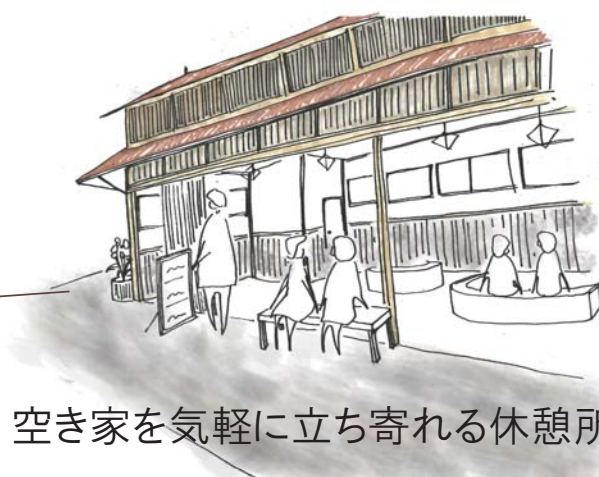
- ・ 新築多い
- ・ 太子堂に近い

↓
建物は出来るだけ残して
広場を整備し
住民のコミュニティの場に





平面図



空き家を気軽に立ち寄れる休憩所に



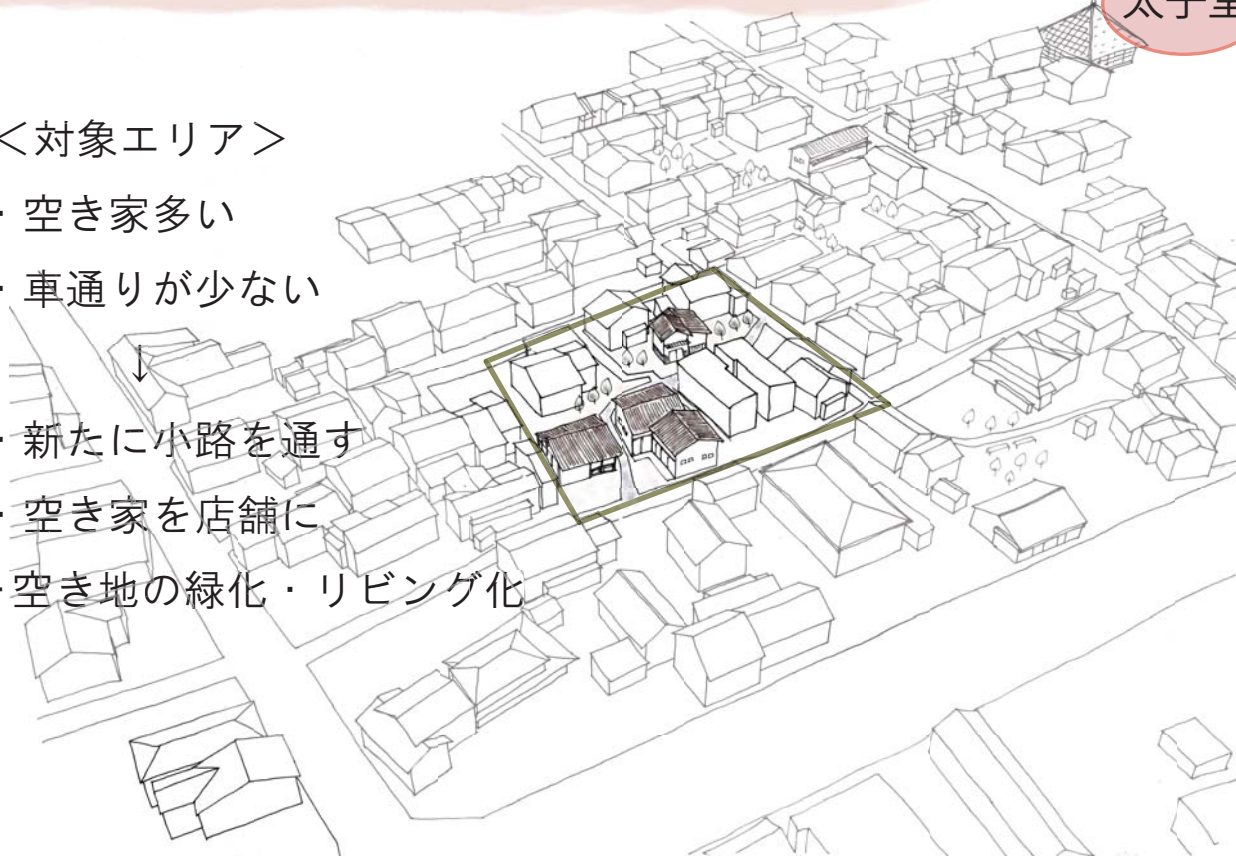
空き地を大デッキのある広場に
→ 太子堂での祭りでも利用できる

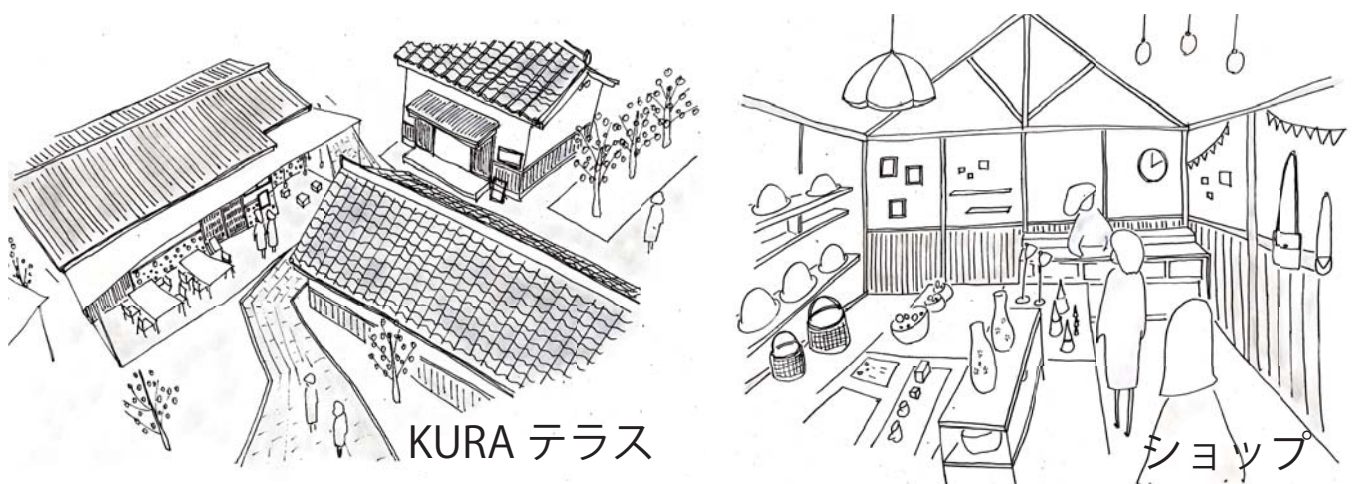
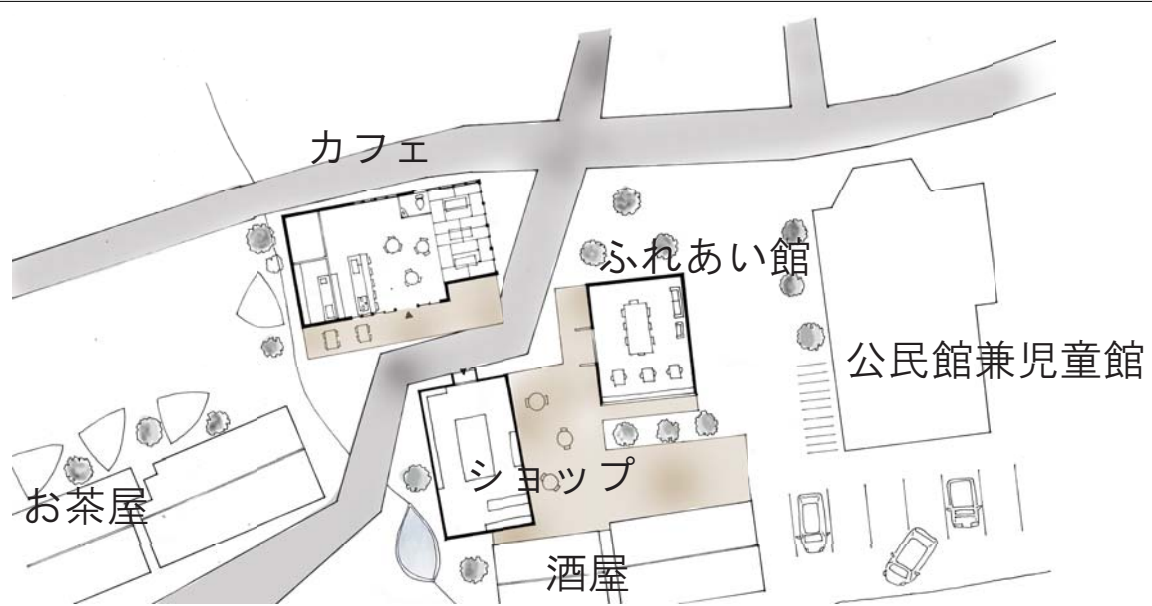
STEP2 住民の暮らしを豊かにする

太子堂

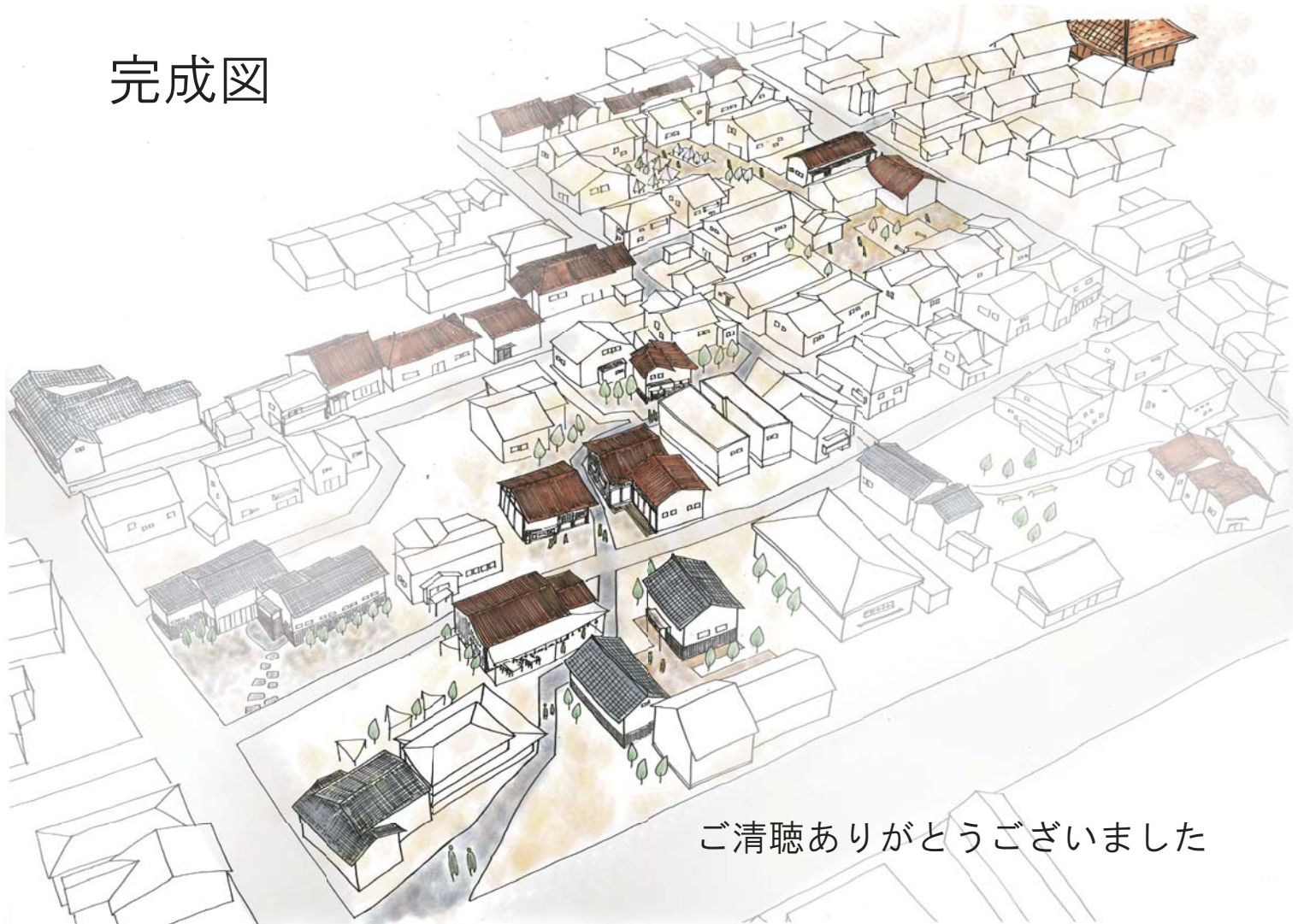
＜対象エリア＞

- ・ 空き家多い
- ・ 車通りが少ない
- ・ 新たに小路を通す
- ・ 空き家を店舗に
- ・ 空き地の緑化・リビング化





完成図



ご清聴ありがとうございました